

伊賀市「事務事業評価」結果総括シート(2次評価シート)

(4) 評価実施年度	平成 19 年度
(5) 評価責任者職名	健康福祉部長
(6) 評価責任者氏名	榎野 策司
(7) 評価者	伊賀支所長、鳥ヶ原支所長、阿山支所長、大山田支所長、青山支所長

(1) 政策	コード 3	名称 (3)必要なときに支えがある安心なまちづくり
--------	----------	------------------------------

(2) 基本施策	コード 7	名称 老後の生活や低所得者の自立を支える	(3) 生活課題 7	お年寄りや所得の低い人が安定した生活を送れる。
----------	----------	-------------------------	---------------	-------------------------

(9) 継続・新規 (19.20.21.22)	コード	(10) 事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12) 事業費(千円)			(13) 投入人員 (人)	主な成果(新規事業の場合は目標 指標の数値)		(17) 指標の 単位	(18) 評価 類型	1次評価結果					(23) 総合 評価	(24) 方向性
					H18 決算額	H19 予算 額・補 正要求 額	H20 要求 見込額		(14) 指標名	(15) 17年度			(16) 18年度	個別評価					
					(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度							(22) 効率性					
継続	0304	医療費助成経費(単独分)	130600	健康保険課	10,667	15,408	15,408	0.3	適用対象者比率 (受給資格者数/受給資格 要件該当者数)	99	99 %			4	4	4	3	A	現状維持
継続	0029	外国人高齢者福祉給付金	130200	高齢障害課	2,460	2,400	2,400	0.1	支給率	100	100 %			4	4	4	4	A	現状維持
継続	264-1	生活保護市単独給付	130100	厚生保護課	11,763	7,297	1,545	0.1	見舞金等の減 額	9,926	9,466 千円			3	2	3	2	D	縮小
継続	264-2	生活保護世帯扶助費等経費	130100	厚生保護課	769	804	804	0.1	行旅人移送費	59	49 千円			4	4	3	4	A	現状維持
継続	0265	生活保護世帯扶助費等経費	553000	伊賀健康福祉課	813	773	720	0.1	行路人への旅 費支給件数	124	132 件			3	3	3	3	C	現状維持
継続	0266	生活保護世帯扶助費等経費	603000	鳥ヶ原健康福祉課	402	410	410	0.1	行路人への旅 費支給件数	14	42 件			4	4	4	3	A	現状維持
継続	0267	生活保護世帯扶助費等経費	653000	阿山健康福祉課	0	725	725	0.05	行路人への旅 費支給件数	0	0 件			4	3	3	4	A	現状維持
継続	0268	生活保護世帯扶助費等経費	703000	大山田健康福祉課	370	363	363	0.05	行路人への旅 費支給件数	0	1 件			4	3	3	3	A	現状維持
継続	0269	生活保護世帯扶助費等経費	753000	青山健康福祉課	388	416	416	0.05	行路人への旅 費支給件数	45	39 件			4	4	4	4	A	現状維持

(25) 1次評 価修正 有・無	(26) 修正点	(27) 修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点	(30) 優先 度区 分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて	(33) その他の改革 改善点について
無			無		1G	a	県の制度改革が実施 されれば対象者が増 加	
無			無		2G	b	対象者が減少している がコリアン協議会の要 望事項でもあり現状維 持	
無			無		3G	d	見舞金の廃止	
有	必要性を4から3に 有効性を4から3に 効率性を4から3に 総合評価をAからC に修正	同一事務内容のため 個別評価を統一	無		4G	d	コストの縮減に努める	
無			無		4G	d	コストの縮減に努める	
有	必要性を4から3に 有効性を4から3に 達成度を4から3に 総合評価をAからC に修正	同一事務内容のため 個別評価を統一	無		4G	d	コストの縮減に努める	
有	必要性を4から3に 効率性を4から3に 総合評価をAからC に修正		無		4G	d	コストの縮減に努める	
有	必要性を4から3に 総合評価をAからC に修正	同一事務内容のため 個別評価を統一	無		4G	d	コストの縮減に努める	
有	必要性を4から3に 有効性を4から3に 達成度を4から3に 効率性を4から3に 総合評価をAからC に修正	同一事務内容のため 個別評価を統一	無		4G	d	コストの縮減に努める	